

初心者向けIRAF講習会の開催報告

山中雅之(京都大学)

コンテンツ

- ・今年度2度（6月と10月）実施した初心者向け講習会の報告
- ・これまで開催した6回分の参加者アンケート結果と分析

6月に実施した講習会

総参加者数：24人（すべてZoomによる参加）

講師：山中雅之（京都大学岡山天文台）

6/12(金) 09:00-11:00 1. 基本知識と準備 出席数：20人

6/12(金) 13:00-15:00 2. バイアス合成・処理 出席数：16人

6/16(火) 16:00-18:00 3. フラット合成・処理 出席数：20人

6/19(金) 09:00-11:00 4. 開口測光 出席数：23人

※ さらに今年は延長でもう1回実施した。

6/26(金) 10:00-12:00 4+1. 開口測光 出席数：23人

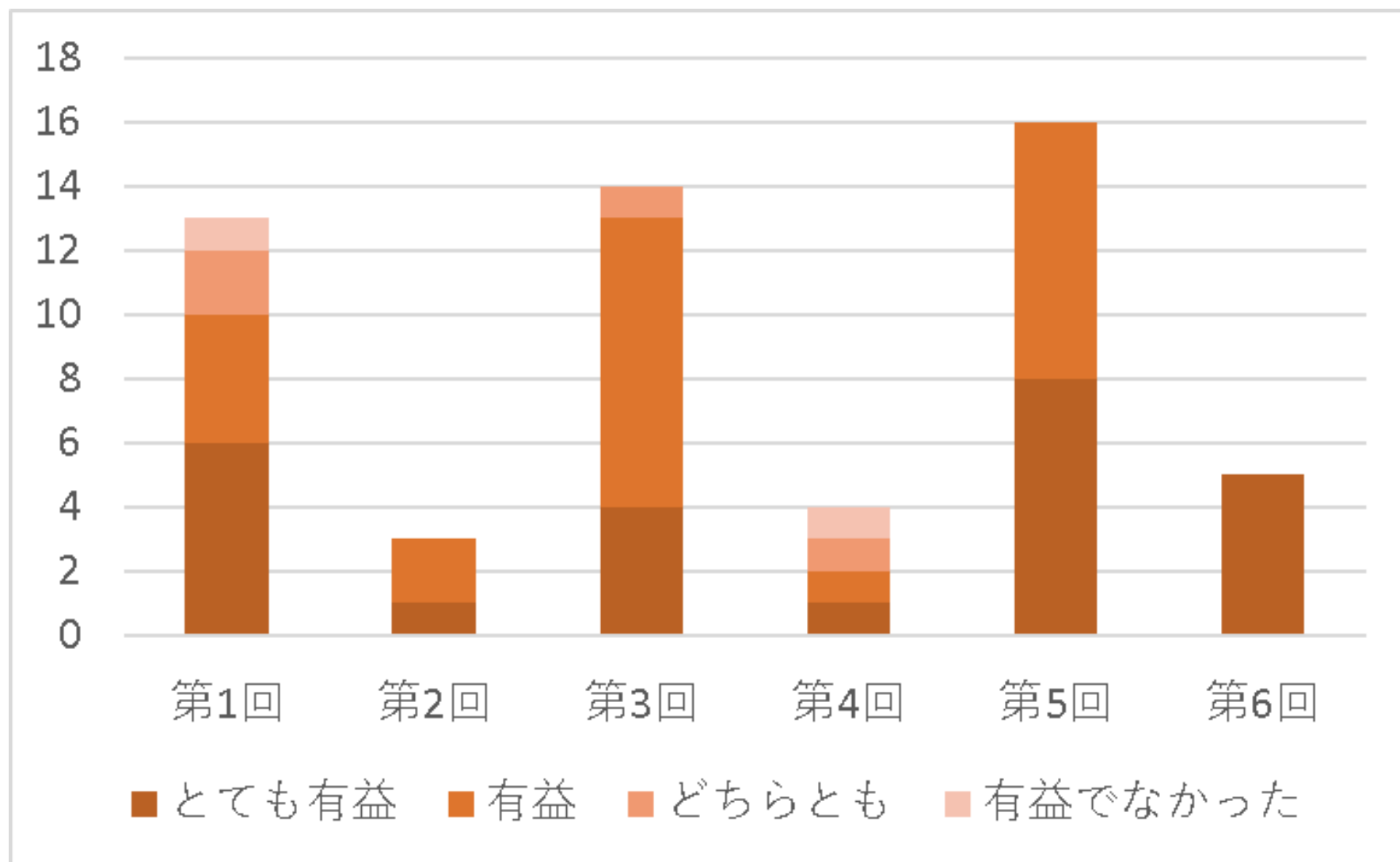
10月に実施した講習会

総参加者数：7人（すべてZoomによる参加）

講師：山中雅之（京都大学岡山天文台）

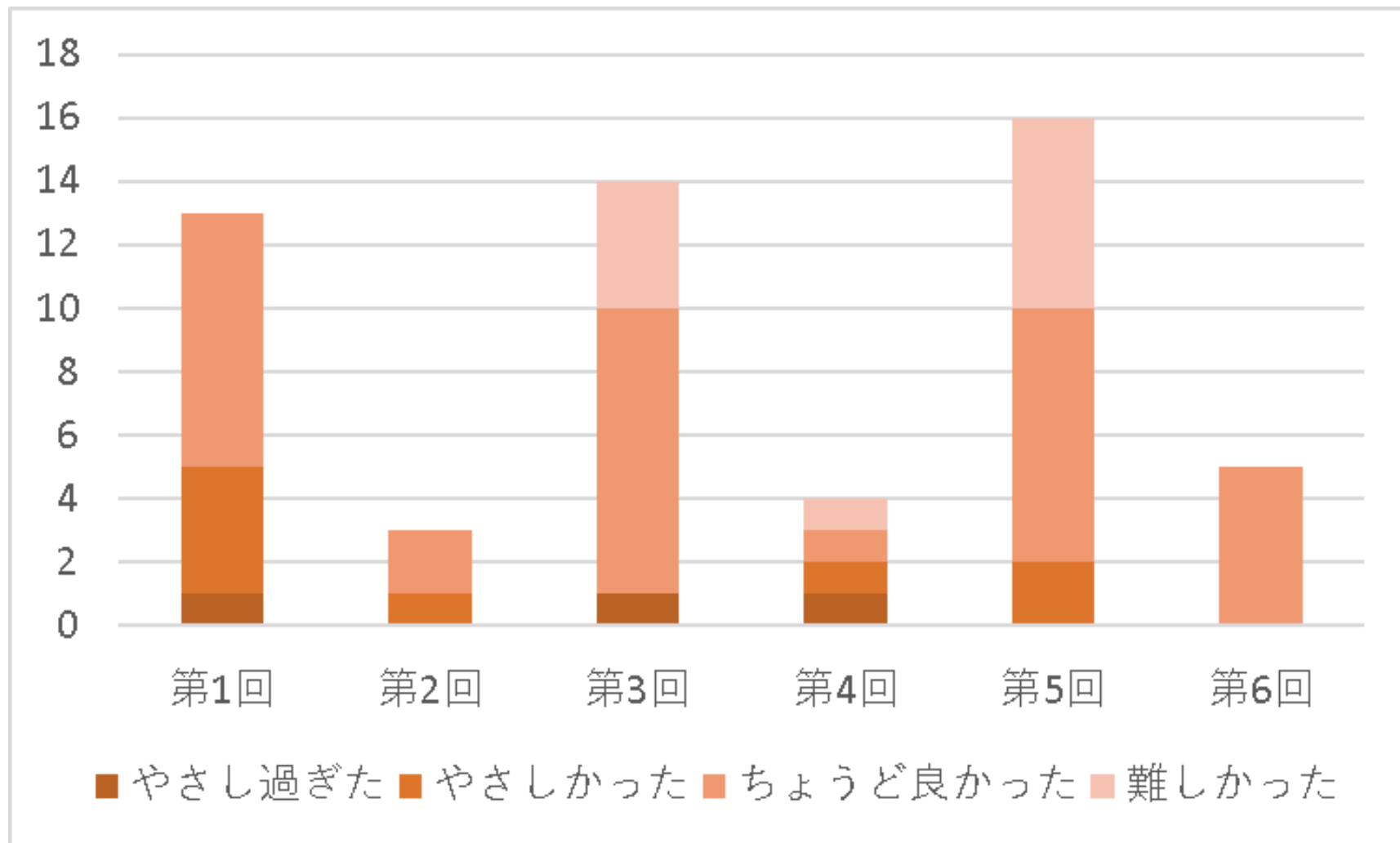
- | | | |
|-----------------------|--------------|---------|
| 10月13日(火) 16:00-18:00 | 1. はじめに | 出席者数：7人 |
| 10月15日(木) 15:00-17:00 | 2. バイアス合成と処理 | 出席者数：7人 |
| 10月15日(木) 17:00-19:00 | 3. フラット合成と処理 | 出席者数：6人 |
| 10月20日(火) 10:00-12:00 | 4. 開口測光 | 出席者数：7人 |

講習会の内容は有益なものとなりましたか？



今年2回は とても有益・有益が**100%**！

講習会のレベルはいかがでしたか？



第六回で「ちょうど良かった」が100%

なぜ高評価だったか

- 新型コロナウイルスの影響下で直接指導を受ける機会の減少=対話的指導の要請高まる
- 今年春はエクストラの5回目を実施。理解が深まったか。
- 今年秋は、もう1つ端末をZoomに接続してLinuxでの実現を行った。その際、自分の音声を出力しながらゆっくり話すよう心掛けた。

Summary

- 今年は6月と10月に初心者向けIRAF講習会を実施。第5回（春）は参加者数24名で**過去最多**、第6回は7名（**秋としては最多**）が参加した。
- アンケートの結果、参加者にとって講習会は非常に満足の得られるものであったと思われる。
- 春・秋ともには多くの機関からの参加があった。
- IRAFが公式のサポートを終了させ、Pythonベースのパイプラインが発達しつつも、依然としてIRAFによるデータ解析を必要となる（特にPSF測光や分光データ）。少なくとも来年は講習会を継続する予定。